

進捗報告書（実行団体）

事業名: 農業の担い手育成と持続可能な地域づくり
資金分配団体: 認定NPO法人北海道NPOファンド
実行団体名: NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト
実施時期: 2020年10月～2021年9月
事業対象地域: 北海道余市郡余市町・仁木町
事業対象者: 余市・仁木の農家、都市部の若者・移住希望者（札幌、首都圏）

Version 1.2

日付: 2021年4月12日

I. 事業概要

事業概要
①余市・仁木町内における農業人材不足を解消するために、都市部からの援農やパート労働者をマッチングする。就業に当たっては双方の要望を調整したり、地域住民との交流や悩み相談の他、地方の課題や持続可能な地域づくりを学ぶ交流研修の機会や移住のサポートを提供する。②短期・中期の援農ボランティアやパート労働者、農業研修生の良好な住環境を確保するために、既存のゲストハウスや学生下宿、空き家などの住宅情報を調査・整理する。③農山村のインフラ設備のない環境でもオフグリッドで居住性の高いタイニーハウス（狭小住宅）を建設し、農業だけでなくツーリズム等への展開を検討する。

II. 進捗報告の概要

総括
全体的には計画どおりに進捗している。農業求人については予想よりも情報把握が難しく、マッチングの課題が明らかになった。援農ボランティアやアルバイトを対象に住宅を提供したり、研修交流会を行い、好評だった。タイニーハウスは工期や支出に変更があったが、内容としては計画どおりに仕上がっている。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①援農ボランティアやパート労働者を地域内農家とマッチングする。②援農ボランティアや学生向けにSDGsや持続可能な地域づくりを考える交流研修会を実施する。③中古住宅のリフォームに加え、既存の住宅を活用して受入れ可能な住環境情報を調査・整理する。④タイニーハウス（2人仕様）が建設され、援農ボランティアやパート労働者に活用される。	①第1回目は秋のブドウ収穫時に実施。第2回目は夏のブルーベリー・ブルーン農家をターゲットに、アルキタの求人情報誌を通じて実施する。②コロナ感染を考慮して規模を縮小して3回開催した（参加者数延べ35人）。講師の話の聞いたり映画鑑賞をした後に、参加者と意見交換を行った。4月はオンラインに変更した。③コンテナハウスを修繕して秋の農業バイト6名（10/14～11/3）に提供した。観光協会と連携してゲストハウスや民泊の調査を進めている。④タイニーハウスを建設した。屋根や設備工事など一部未完成。

活動	進捗状況	概要
①農家と援農ボランティア等とのマッチング ②援農ボランティア向けの交流研修会実施 ③中古住宅のリフォーム・住環境情報調査 ④タイニーハウスの建設	ほぼ計画通り	①小規模農家、秋のブドウ収穫のアルバイトやボランティアをマッチングした。②10月、2月、3月に開催。講師の話の聞いたり映画鑑賞をした後に、参加者と意見交換を行った。コロナ感染を配慮して参加人数を制限し、回数を増やし、4月はオンラインに変更した。③コンテナハウスを修繕して秋の農業バイトに提供した。中古住宅のリフォームは時間的・経済的にハードルが高いことがわかり、まずはゲストハウスや民泊の調査を実施し、まとめをしている。④タイニーハウスを建設した。積雪期に入って工事の進行が遅れたり、支出が多くなったり変更もあったが、設計どおりに施工された。屋根や設備工事など一部は5月に行い、6月には供用開始する予定。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
計画当初は農家の求人はある程度JAで把握されていると想定していたが、各農家が主に地縁血縁を頼って集めていることがわかり、求める人材を把握するのが難しかった。（単純作業する人、短期的な需要を満たすだけの人材でいいのか、就農や移住まで視野に入れた人材を求めるのか）それぞれの農家のスタイルを理解し、希望を汲み取るのは時間がかかる。農業バイトや援農ボランティア同士でコミュニティを作り、通年でつながり続けるとともに、農家との情報共有ができればいいと考える。 農業従事者の住まいとしては、農家の離れを活用しているケースの他に、ゲストハウスや民泊を利用しているケースもあった。住宅を提供できないために町内で働き手を探すのが一般的だが、人材不足は明らかで、農業に興味のある町外の人に定住してもらうためにも安価な住宅供給が課題であることを改めて確認した。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥3,450,719	¥1,069,281	¥4,520,000	¥3,050,072	67%
	管理的経費	¥240,000	¥240,000	¥480,000	¥205,425	43%
合計		¥3,690,719	¥1,309,281	¥5,000,000	¥3,255,497	65%
補足説明		電気工事の見積もりが抜けていたこと、積雪期に入り、予定していたセルフ施工ができず、（時間的技術的に難しかった）工務店に追加で外注したため、計画以上に支出した。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>タイニーハウスについては、お試し移住や就農研修者の他に、ワーケーションなどのビジネス利用も考えていたが、各ターゲットに必要な設備や条件が異なることがわかった。（水道や電気などのインフラを整備するとさらに200万円近くかかる）また、賃料をとって貸し出す場合、旅館業と賃貸業では消防設備や保健所の許可が異なる。今期は会員限定のお試し利用でオフグリッド設備含めてフィードバックをもらい、ベルソナを再検討した上で、必要な設備や事業形態を決めることとする。</p>

VII. その他

自由記述
<p>今回の事業を実施して、役場の移住促進事業や観光協会のワインツーリズム事業との連携協力の話が進んだ。空き家対策については、いずれのセクションも課題として取り組んでいるが、個人の財産を公共事業に活用するのは今のところハードルが高そうだ。しかしながら、余市の関係人口を増やしたり、民泊を推進するに当たっては大きな資源でもあるし、興味を持って参入したいという個人事業者もいる。農業に限定せず、広く利用や運営を考えていくことも必要だと思う。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	くらしごと（サイト）
広報制作物等	有	エコビレッジニュースレターVol.44, Vol.45
報告書等	有	2020エコビレッジ活動報告書

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	2020年9月5日理事会 2020年1月17日理事会 2021年3月14日 通常総会
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	検討中